

高橋
ゆき

司馬遼太郎



文春文庫







海援隊の仲間たちと



司馬遼太郎

燃えよ剣

上

新潮文庫



土方歳三

坂本竜馬

さかもと りょうま

1835年 ～ 1867年11月15日

土方歳三

ひじかた としぞう

1835年 ～ 1869年5月11日

本日の課題

竜馬と歳三。かたや革新側、かたや体制側。

「ニッポンをつくる」と意気込む竜馬。

「美しさを作る」と寡黙な歳三。

ともに時代が生んだ桁外れの男たちです。

この両者の魅力を

……なら竜馬 ……なら歳三

といった形で比較し、

そのココロを解説してください。

たとえば・・

上司にするなら歳三
部下に持つなら竜馬

恋愛するなら竜馬
結婚するなら歳三

高橋
ゆき

司馬遼太郎



文春文庫

シリアスにして剽軽ひょうきん

「お見やーん」

と素っ頓狂な気合をかけては、踏みこみ踏みこみして斬りむすび、

竜馬は笑ってしまった。おりょうのそのあられもない裸にである。

「なにはともあれ、お前にその姿でうろろうされてはこっちは真面目に客人と応答できぬ。着物のある場所までおさがり」

ばっちいヒーロー

議論に夢中になってくると無心に羽織の紐を解きはじめる。

解いてそれを口にくわえるのだ。

房をニチャニチャ噛みながらやる。

……さらに興に入ってくると、それをぐるぐるふりまわすのである。

房から、つばがとぶ。

相手は、雨に遭っているようなものだ。……

「顔が濡れてのう」

と、西郷なども閉口したという。

大志

「もうええ。わしア、薩州も長州も土州も煙のごとく消えてしまっ
ニッポンを考えちよるんじゃ」

「煙のごとく?」

「幕府もな」

あつ、とみな声を吞む。……

「三百諸侯も消える」

ぱっ、と竜馬は煙の出る手つきを
した。

「土、土佐藩が消えるなど……」

は、信じられぬことだ。……

人間の意識とは、その環境から
容易に、いや絶対といっていいくら
い、飛躍することは不可能なもの
である。

大志

おらア、ニッポンという国をつくる
つもりでいる。頼朝や秀吉や家康
が、天下の英雄豪傑を屈服させて
国に似たものを作った。が、国に似
たものであつて、国ではな
い。……ニッポンはいまだかつて
国がなかった

おれは、この六十余州のなかでた
だ一人の日本人だと思っている。
おれの立場はそれだけだ

アメリカでは大統領が下駄屋の暮
らしの立つような世事をする。な
ぜといえ、下駄屋どもが大統領
を選ぶからだ。おれはそういう日
本をつくる

帰天

天に意思がある。

としか、この若者の場合、おもえない。

天が、この国の混乱を收拾するためにこの若者を地上にくだし、その使命がおわったとき惜しげもなく天へ召しかえした。

この夜、京の天は雨気が満ち、星がない。

しかし、時代は旋回している。若者はその歴史の扉をその手で押し、そして未来へ押しあけた。

司馬遼太郎

燃えよ剣

上

新潮文庫

新選組～時流に抗った男たち

歴史は、幕末という沸騰点において、
近藤勇、土方歳三という奇妙な人物
を生んだが、かれらが歴史にどうい
う寄与をしたか、私にはわからない。
ただ、はげしく時流に抵抗した。

新選組～時流に抗った男たち

天下の諸侯は、あらそって薩長を代表とする「時流」に乗ろうとし、ほとんどが「官軍」となった。……
かれらは、

「日本」
に参加した。

戦国割拠以来、諸藩が、はじめて国家意識をもったことになる。

しかし、「日本」ではなく、薩長にすぎぬという一群が、これに抵抗した。

抵抗することによって、自分たちの、

「侠気」

をあらわそうとした。

新選組～時流に抗った男たち

天下の諸侯は、あらそって薩長を代表とする「時流」に乗ろうとし、ほとんどが「官軍」となった。……
かれらは、

「日本」
に参加した。

戦国割拠以来、諸藩が、はじめて国家意識をもったことになる。

しかし、「日本」ではなく、薩長にすぎぬという一群が、これに抵抗した。

抵抗することによって、自分たちの、

「侠気」
をあらわそうとした。

日本一の喧嘩師

歳三は、だまっている。歳三にとって、空疎な議論などは、どちらでもよい。かれの情熱は、新選組をして、天下最強の組織にすることだけが、自分の思想を天下に表現する唯一の道だと信じている。武士に口舌は要らない。

日本一の喧嘩師

歳三は、だまっている。歳三にとって、空疎な議論などは、どちらでもよい。かれの情熱は、新選組をして、天下最強の組織にすることだけが、自分の思想を天下に表現する唯一の道だと信じている。武士に口舌は要らない。

日本一の喧嘩師

「これは刀だ」

「刀とは、工匠が人を斬る目的のためだけにみ作ったものだ」

「見ろ、この単純の美しさを。刀は美人よりもうつくしい。美人は見ていても心はひきしまらぬが、刀のうつくしさは、肅然として男子の鉄腸をひきしめる。目的は単純であるべきである。思想は単純であるべきである。新選組は節義にのみ生きるべきである」

日本一の喧嘩師

「男の一生というものは
と、歳三はさらにいう。
「美しさを作るためのものだ、自分
の。そう信じている」